

おかやまの木といえばこの三種類

杉

- 【スギ】針葉樹/スギ科
—暖かみがありさっぱりとした感触—

スギの名前は「直ぐ」からきているといわれ、大地から真っ直ぐに伸びている。丸太の外側に近いところの材は白く、心に近い材は濃い赤色でその境目ははっきりしている。針葉樹の中でも特にやわらかいため冬は暖かみがあり、夏はさっぱりとしていて素足の感触が良い。クセのない香りも親しみやすい。戦後に植林された多くの杉の木が現在伐採時期になっているので手に入れやすく、手頃な価格の材である。

桧

- 【ヒノキ】針葉樹/ヒノキ科
—緻密な木肌で独特の香り—

ヒノキの名前は「火の木」つまり火起こしに使う木に由来するといわれている。狂いが生じにくい特性をもち、古くから建築材に用いられてきた。丸太の外側に近いところの材は黄白色で、心に向かってだんだんと淡いピンクがかかった白色になっていく控えめな表情。艶のある緻密な木肌で独特の香りも人気がある。乾燥しやすく耐水性があり加工性に優れているので、内部造作材や家具、工芸品にも用いられている。

松

- 【アカマツ】針葉樹/マツ科
—強度があり力強い印象—

アカマツは丸太材として民家などに古くから用いられてきた。全体的に黄色がかかった白色。木目がはっきりしていて大きな節が力強い印象。節のある板目は「洋」の印象にも「和」の印象にもなる。他の針葉樹に比べて重厚で強度があり、足触りも硬い。本実加工したフローリングは、脱脂乾燥で、ねじれやヤニを解決して使いやすくなっている。

おかやまの木とは

岡山県内の木材業者や製材業者が製材した県産材製品をおかやまの木としています。

岡山県の森林面積は約484千haで民有林が県土の約7割（約446千ha）をしめています。その内の173千haが人工林であり、これは森林面積全体の約4割もあり建材に使用できる木がたくさん育っています。人工林の樹種は、桧67%、杉22%と、桧の方が豊富にあります。いずれにしても岡山の森林環境を守るには、民間での使用推進がかかせません。

リフォームと岡山県産材についてのお問い合わせは

岡山県住宅リフォーム推進協議会

(事務局：NPO法人まちづくり推進機構岡山内)
〒700-0813 岡山市北区石関町2-1
TEL 086-803-3361 FAX 086-803-3362
E-mail machiken@amber.plala.or.jp



おかやま緑のネットワーク

〒700-0813 岡山市北区石関町2-1
(事務局：NPO法人まちづくり推進機構岡山内)

おかやまの木でリフォームしよう
ふるさとの香りにつつまれた住まい



木に囲まれた住まい

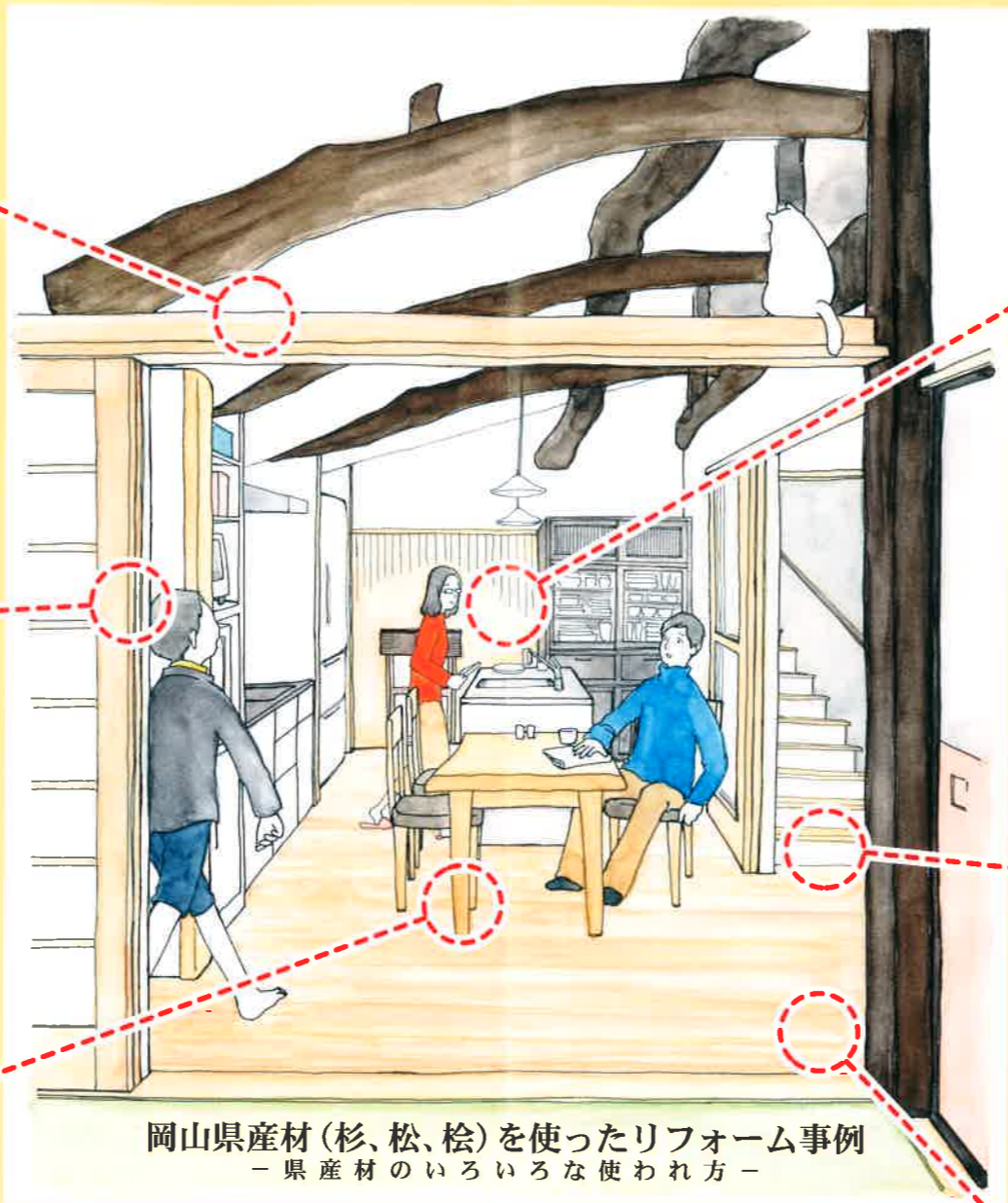
天然木を活かした住まいは人にやさしい住まいです。木には調湿効果やダニなどの防虫効果があり、香りには気分がリラックスする効果があるとされています。住宅をリフォームするなら、そんな人にやさしい木をつかったリフォームをすることをおすすめします。

木を使うなら環境にやさしい岡山の木で

人にやさしい木をつかった住まいをつくるなら岡山の木を使いませんか？地元の木を使うことで森林を守ることにもなり、また輸送にかかるCO₂を削減することで地球温暖化を防ぐことにもつながります。地元の風土・気候で育った木は私たちの住まいの環境にあった家になります。

リフォームで長持ちする家をつくる

— 経年変化が楽しめる無垢の木の家 —



岡山県産材(杉、松、桧)を使ったリフォーム事例
— 県産材のいろいろな使われ方 —

●構造材

- ・柱
- ・梁(はり)
- ・床組
- ・小屋組
- ・下地材



●建具材

- ・襖(ふすま)
- ・欄間(らんま)
- ・ガラリー
- ・障子(しょうじ)



●家具インテリア材

- ・テーブル
- ・椅子
- ・収納家具
- ・ブラインド



●外装材

- ・板塀(いたべい)
- ・焼板(やきいた)
- ・ウッドデッキ



●框材(かまちざい)

- ・玄関部材
- ・上り框(あがりかまち)
- ・式台(しきだい)

●手すり材



●薪ストーブ・ペレット燃料



ペレット(木製ペレット)とは、間伐材や製材の木片などを粉にし水分を飛ばして固め、粒状にした成形燃料のことです。ペレットストーブ、ペレットボイラーなどの燃料として製造されています。

●内装部材

- ・壁材
- ・天井材
- ・廻り縁(まわりふち)
- ・床の間材
- ・内法材(うちのりざい)



●階段材



●床材

- ・フローリング
- ・縁甲板(えんこういた)
- ・巾木(はばき)

リフォームをするとき気をつけること

リフォーム工事は、大まかに増改築・修繕・改修、模様替え、設備の更新・新設などに区分されます。工事の目的と内容を家族間でじっくり話し合い、全員の将来に不都合のないリフォーム計画をすることがポイントになります。

- ・メンテナンス
年月がたつと、いたみが出てきた箇所の修繕・改修、屋根の葺き替え、外壁の塗り替えなど
- ・ライフステージへの対応
家族構成の変化、高齢化などにもなる間取り変更、バリアフリー化など
- ・グレードアップ
住まいの快適性、性能アップ、設備の更新・新設、省エネ化など

建築確認申請は必要ないか? 建ぺい率・容積率が超えないか? シックハウス対策は? などと注意したいことが沢山あります。建築士など専門家によく相談してリフォームを進めましょう。

古い木造住宅のリフォームをするときは耐震診断を受けましょう。

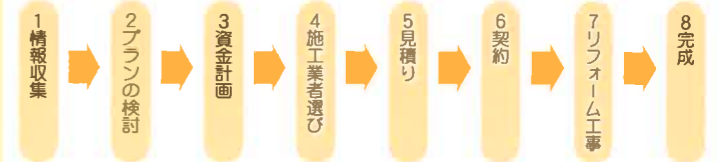
阪神・淡路大震災では、死者の8割以上が建物や家具類等の倒壊による圧迫死でした。昭和56年5月の新耐震基準以前に建築された建築物で倒壊の被害が多くあり、耐震性の向上が求められています。住宅のリフォーム工事を行うときは専門家による耐震診断を受けて、安心安全な住宅に性能アップしましょう。耐震診断を受ける時は補助制度もあります。補助制度の詳細内容につきましては、お住まいの市区町村にお問い合わせください。

信頼できる施工業者を選ぶポイント

- ・3社程度複数の業者から見積りを取り比較検討して決めましょう。
- ・内訳明細がきちんと書かれた見積書を出してもらいましょう。
- ・依頼する工事内容が業者の得意分野か、これまでの施工事例を見せてもらいましょう。
- ・建築士や増改築相談員などの資格があり経験豊富で実績がある業者か確認しましょう。
- ・自社内に維持管理の体制があり施工後のフォローも充分してくれる業者を選びましょう。
- ・住所を確認して自宅からあまり遠くない業者を選びましょう。

リフォームの手順

リフォームを進めていく上での基本となる手順についてご紹介します。



(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター/住宅リフォーム推進協議会 「安心・満足リフォームガイド」参照